



3843 A

日本生糸説

日本生糸の歴史と生産の現状
一、緒言
二、生糸の歴史
三、生糸の生産
四、生糸の消費
五、生糸の輸出
六、生糸の輸入
七、生糸の将来
八、生糸の改良
九、生糸の検査
十、生糸の貯蔵
十一、生糸の包装
十二、生糸の運送
十三、生糸の取引
十四、生糸の税関
十五、生糸の関税
十六、生糸の貿易
十七、生糸の競争
十八、生糸の協定
十九、生糸の同盟
二十、生糸の統一
二十一、生糸の融合
二十二、生糸の結合
二十三、生糸の結合
二十四、生糸の結合
二十五、生糸の結合
二十六、生糸の結合
二十七、生糸の結合
二十八、生糸の結合
二十九、生糸の結合
三十、生糸の結合



114
A 3649



澳國博覽會第五區第四類審查官長

イノンドンダーへ氏ノ所贈

日本生糸ノ説

此書ノ末ニ附セル表ヲ見ハ始メテ日本生糸ノ
航渡セル時ハ性質良美製方精好ニシテ西人之
ヲ争ヒ用ヒ價直漸ク貴カリシニ日本人欺妄ノ
所爲ヲ以テ之ヲ製シ輸出セシヨリ人皆疑念ヲ
生シ之ヲ買ハザルニ至レルコト明瞭ナルベシ故
ニ今日ニ當テハ多少ノ歲月ヲ費シ十分ノ改革

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

ナ行ハザレハ元位ニ復シガタシ
 千八百五十九年始テ航渡セシハ惣代糸ニテ色
 白清潔然モ内外精粗ノ異ナク本位十四ドニエ
 ーヨリ十八ドニエーナリシガ二十四磅二十五
 磅ノ價ナリキ其後試験トシテ前橋糸ヲ送りタ
 ルニ二十五乃至二十六磅ニ賣レタリ且其糸清
 潔ニシテ本位十ヨリ十四ドニエー紡方好ク糸
 圓ク軟ナルヲ以テ他所各種ノ産糸渡來スルマ
 デハ實ニ人擇ンテ之ヲ用ヒタリ今此各種ノ糸
 ナ左ニ評論スベシ

第一	前橋信州下仁田等皆絹ノ編物及緯糸ニ	用ウルニ宜シ本位十ヨリ十四ドニエー	ノモノハ編物ニ用ヒ十六ヨリ二十ノモ	ノハ緯糸ニ用ウ	奥州糸清潔ニシテ強ク紡方好ク本位	二十ヨリ三十或ハ三十ヨリ四十ドニエ	又ハ四ヨリ六トス細キ	ハ緯糸ニ用ヒテ極好シ	掛田糸細ク精良ナリ本位十ヨリ十四	第三
----	-------------------	-------------------	-------------------	---------	------------------	-------------------	------------	------------	------------------	----

二
 澳國博覽會事務局

ルニ宜シ
 第四 飯田惣代 最初ハ西人其色白ク清潔ニ
 シテ細キヲ稱セリ飯田ハ本位十ヨリ十
 四ドニエー惣代ハ十六ヨリ二十ドニエ
 ーナリ内外精粗ナク糸甚好シ飯田ハ價
 ノ高キヲ編物ニ過キタリ
 第五 甲州又「セレー」ト云 糸好クシテ強シ緯
 糸ニ用ウルニ宜シ
 第六 増田 本位二十ヨリ二十五ドニエー清
 潔ニシテ色白ク糸圓ク緯糸ニ用ウルニ

宜シ
 第七 越前長濱 清潔糸疏ク白ク緯糸及縫糸
 ニ宜シ
 第八 南部 奥州ノ類ニシテ極テ重シ然レモ
 清潔ニシテ用ヒ所ニヨリテハ宜キヲア
 第九 八王寺 清潔紡方ヨク紐類ニ宜シ
 右歐州ニテ日本生糸ノ各種ヲ評論スル所ニシ
 テ諸種初ハ並ニ高價ニ賣レタレモ日本人ハ前

橋等ノ系類ニ囑需ヲ受ルヲ見テ次第ニ製方ヲ
 惡クシ一把中ノ外面ニハ好系ヲ列シ内面ニハ
 節系ヲ藏シ又他所ノ系ヲ前橋様ニ束テ日本人
 ナ信スル買主ノ目ヲ欺ケルガ故ニ遂ニハ其欺
 妄發露スルニ至レリ第二第三ノ系モ皆然リ故
 ニ今再ヒ元ノ位價ニ復スルニハ多少ノ改革ヲ
 施シ幾何ノ勞苦ヲ費サバムルヲ得ズ今日本ニテ
 直ニ歐洲ノ製系方ヲ採用スルニハ其費洪大ナ
 ルノミナラス國人未タ其事ニ慣レサレハ漸チ
 逐ヒテ之ヲ行フニ如カズ今日第一ノ急務ハ善

ク心ヲ用テ千八百五十九年即日本生糸ノ始テ
 輸出セル時ト同様ニ精製スルニ在リ苟モ然ラ
 ハ西人ノ喜テ復タ之ヲ賞用スルヤ必セリ
 前文ニ述フル處若シ能ク明瞭ニシテ貴問ノ條
 件ニ適合セハ予ノ幸何ヲ以テ之ニ過ンヤ敬白

日本生糸輸入表

高價ハ細糸ノ價低價ハ太糸ノ價		一月一日ノ時價	
年號	箱數	低價	高價
千八百五十九	五百四十九	此糸ハ非常ノ	高價ナリ
同 六十	六千四百七十二	十六磅	二十七磅
同 六十一	七千四百四十一	十四磅	三十磅
同 六十二	九千七百五十九	十三磅	二十磅
同 六十三	二万三千	十七磅	二十七磅
同 六十四	一万千四百	十三磅	二十四磅
同 六十五	一万千七百八十八	十八磅	二十八磅六
同 六十六	七千四百五	十一磅	三十六磅六

新編 日本銀行 通商手帳 明治三十四年

五

年 號	箱 數	低 價	高 價
千八百五十九	五百四十九	此系ハ非常ノ	高價ナリ
同 六十	六千四百七十二	十六磅	二十七磅
同 六十一	七千四百四十一	十四磅	三十磅
同 六十二	九千七百五十九	十三磅	二十磅
同 六十三	二万三千	十七磅	二十七磅
同 六十四	一万千四百	十三磅	二十四磅
同 六十五	一万千七百八十八	十八磅	二十八磅六
同 六十六	七千四百五	十一磅	三十六磅六

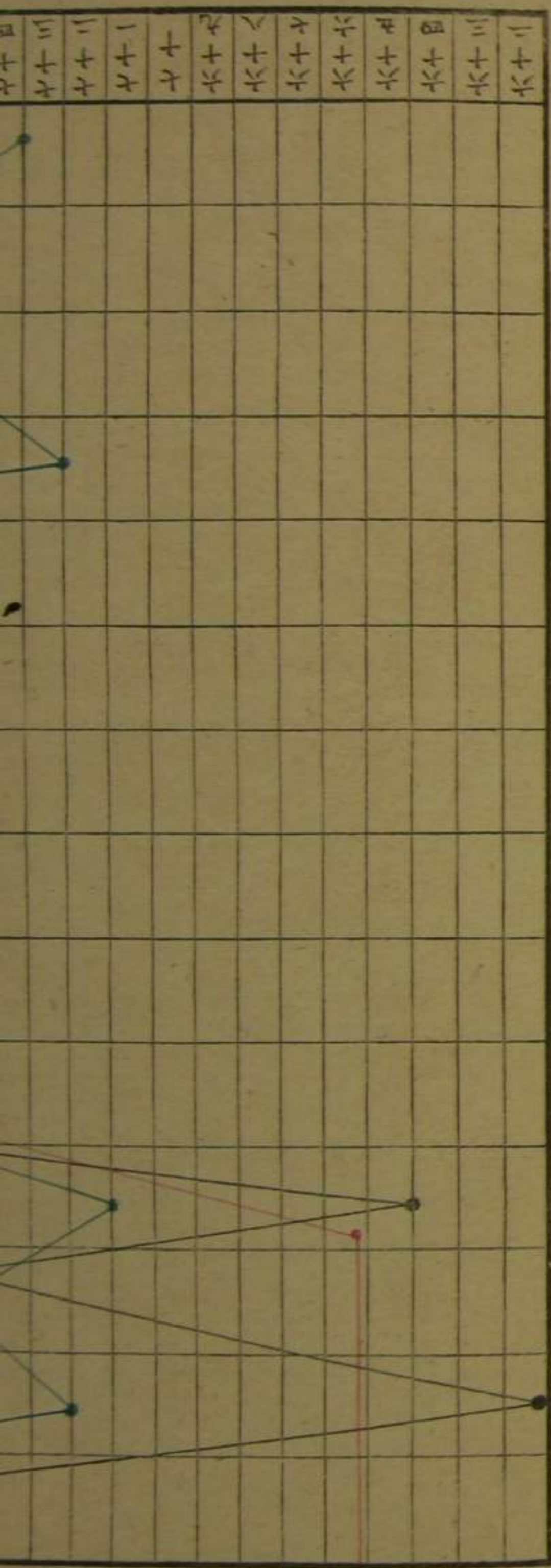
高價ハ細系ノ價低價ハ太系ノ價

一月一日ノ時價

同 六十七	六千九百八十二	九磅	三十五磅
同 六十八	八千五百十	九磅	三十五磅
同 六十九	八千七百五十二	七磅	三十八磅
同 七十	七千六百二十四	二十二磅	三十二磅六
同 七十一	一万〇七百六十	二十磅	三十磅
同 七十二	八千五百七十四	二十一磅	三十磅
同 七十三	四千	十九磅	三十磅

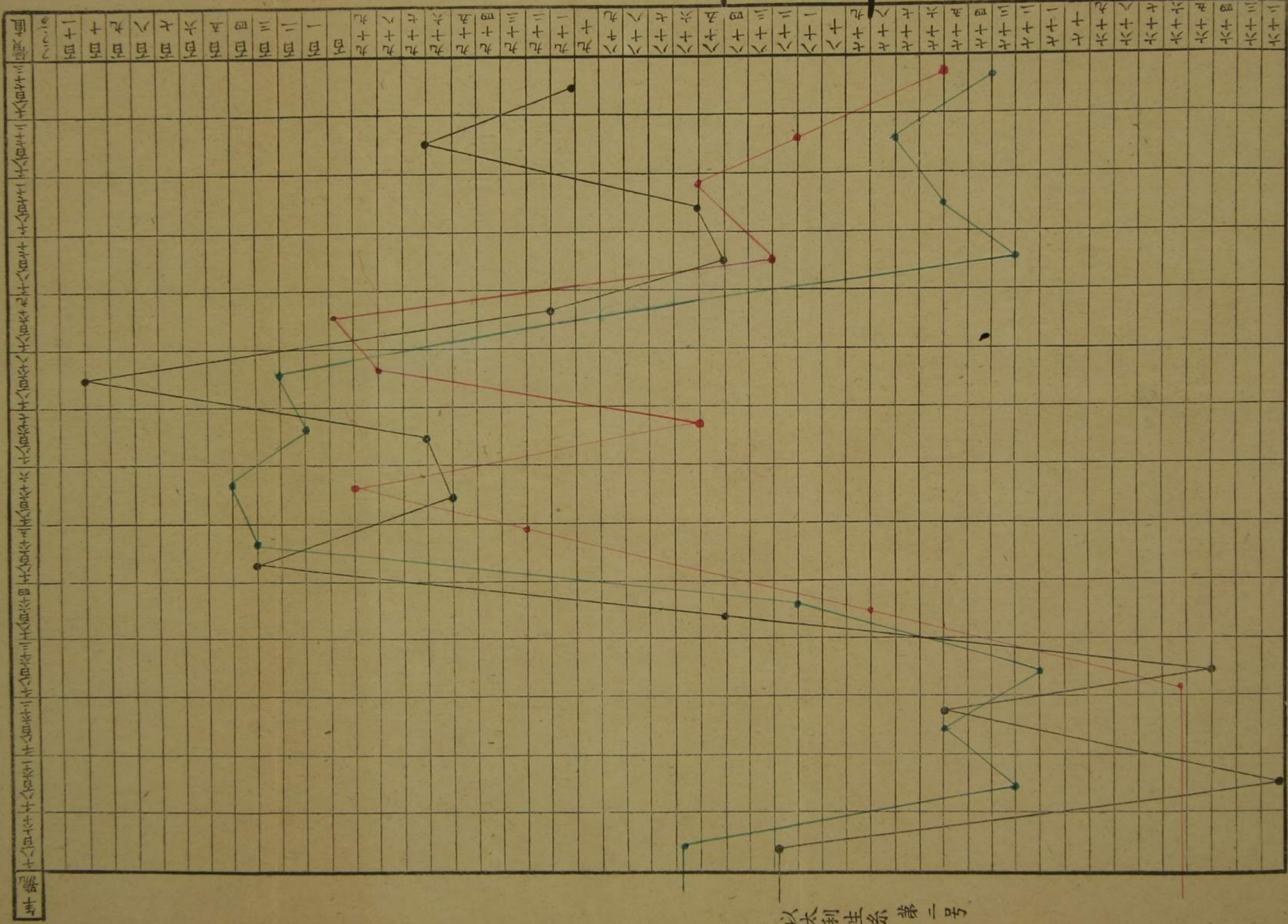
但九ヶ月間

平山成一郎譯



日本及以生利太表低高場相系

價ノグラム一但



前橋第二号 以太利生糸 第二号

奥州

平山成一郎譯

同	同	同
但九ヶ月間	七十三	七十一
四千	八千五百七十四	一万〇七百六十
十九磅	二十一磅	二十磅
三十磅	三十磅	三十磅

The image shows a large rectangular frame on the right page of an open book. Inside the frame, there is a very faint grid or table structure. The text within the grid is extremely light and illegible. The grid appears to have several columns and rows, possibly representing a map or a data table. The paper is aged and shows signs of wear, including stains and small holes.

淺卯御藏前片町四番地公明社刊行

